

令和7年度「「親の力」をまなびあう学習プログラム」 ファシリテーターステップアップ研修

1 趣 旨

「「親の力」をまなびあう学習プログラム」に係る講義や演習を通して、プログラムの企画・運営の進め方等の理解を深め、活動への意欲を高めるとともに、ファシリテーター間のネットワーク化を図る。

2 主 催

広島県教育委員会（広島県立生涯学習センター）

3 ねらい

「「親の力」をまなびあう学習プログラム」ファシリテーターとしての資質の向上を図る。

・アイスブレイクの意義と方法を知り、アイスブレイクの技能を高めることができる。

・新規プログラム案「親茶会」を体験し、自市町の実態に応じて何ができるか考えることができる。

4 日 時 令和7年12月17日（水）13:30～16:30

5 方 法 集合・対面（オンラインでの受講可）

6 日程・内容 【受付・13:10～】

日時	内容	講師等
13:30～13:40	オリエンテーション	
13:40～14:00	【説明】 「「親の力」をまなびあう学習プログラム」講座等実施状況について	県立生涯学習センター 社会教育主事
14:00～15:30	【講義・演習】 「参加者の心をほぐすアイスブレイク」 【質疑応答】	社会福祉法人 光彩会 和光園保育所 所長 岡本 由姫美
15:30～15:40	休憩	
15:40～16:20	【演習】 【意見交流】 「新規プログラム案「親茶会（仮称）」体験」 感想・意見交流	ファシリテーター 親プロの会「Jinpōtōfu」 代表 高石 尚子 親プロファシリテーター 川上 恵美子
16:20～16:30	【振り返り】 【事務連絡】	

7 講師及びファシリテーター紹介

【講師】

社会福祉法人 光彩会 和光園保育所 所長 岡本 由姫美

平成18年度及び平成19年度に「親の教育力を高めるプログラム開発検討委員会」の委員を務め、「「親の力」をまなびあう学習プログラム」の執筆・編集に携わる。中でも、「学習のすすめ方」のアイスブレイク集を編集している。

- ・著書 濑尾弘幸・岡本由姫美（2000）：「実践レクリエーション：ケアに関わる人のための」Q.O.Lサービス
- ・2017年：日本教育新聞「地域・支援団体」にて、和光園保育所の取組が掲載されている。
- ・令和3年度広島県教育賞 受賞
- ・令和4年度社会教育功労者表彰 受彰
- ・令和5年度広島県社会教育委員研修会 登壇

【ファシリテーター】

神石高原親プロの会「Jinぽとふ」 代表 高石 尚子

日頃より、神石高原町において「親プロ講座」のファシリテーターとして活動するとともに、「気軽におしゃべりの場「スマイルチャージ」」を開催するなど、地域に根差した家庭教育支援の実践を重ねている。

令和5・6年度「「親の力」をまなびあう学習プログラム」意見交流会に参加し、既存の学習プログラムの改善に向けた協議に加え、新規プログラム案の考案に携わった。

日頃の取組は、新規プログラム案「親茶会」が目指す趣旨と軌を一にするものである。

- ・令和6年度コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進連絡交流会ゲストスピーカー

- ・第13回（令和6年度）広島県生涯学習研究実践交流会 第2分科会 登壇

【ファシリテーター】

神石高原親プロの会「Jinぽとふ」 親プロファシリテーター 川上 恵美子

高石氏とともに、神石高原町において「親プロ講座」のファシリテーターとして活動し、「気軽におしゃべりの場「スマイルチャージ」」を開催するなど、地域に根差した家庭教育支援の実践を重ねている。

令和6年度「「親の力」をまなびあう学習プログラム」意見交流会に参加し、新規プログラム案の考案に携わった。

日頃の取組は、新規プログラム案「親茶会」が目指す趣旨と軌を一にするものである。

8 研修資料一覧

	資料名	備考
1	レジュメ（本資料）	
2	説明資料	
3	講義資料	広島県立生涯学習センターHPに掲載（パスワードあり）
4	演習資料	
5	演習シート	
6	振り返りアンケート（研修終了後に提出）	広島県電子申請システム